

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 平成21年11月17日(火) 1校時

児 童 男5名 女8名 計13名

場 所 3年生教室

指導者 志馬田 総一郎

I 大単元の構想

1 大単元名 御返地の名人をさがそう

2 単元について

御返地地区は、古くから「くしもち」「ひつつみ」「そば・はっと」といった郷土食があり、また、産業ではりんご栽培や畑作が行われたり、地域で栽培された大豆を使った味噌づくりもなされたりしてきた地域である。ここには厳しい自然環境の中で生きてきた先人の知恵があり、豊かな自然を活用してきた地域に対する深い思いがあると思われる。

本単元では、そうした地域に根付く特産品についての学習を通して、児童の地域に対する理解を深めさせるとともに、御返地の特産品を引き継ぎ、発展させようと努力している方々にふれさせ、その思いや仕事への喜びを感じ取らせたいと考えた。

3 指導の構想

この単元では、子どもたちの興味・関心が高い「食」に関する「くしもち」「足沢みそ」「りんご」を取り上げる。前者2つについては、足沢在住で食について見識の高い小笠原さん、「りんご」については、安比地区でりんご栽培に取り組んでいる千葉さんをキャリアサポーターとして、その仕事に対する思いや願い、生き方について学ぶことにした。

単元の導入では、地域の特産品への意識化を図るために「御返地の名物調べ」を行う。そこで、あげられた名物（郷土食・特産品・農産物等）の中から小単元ごとに題材設定をし、その生産にかかわる方を「名人」と位置づけ調べ学習の方向付けを行う。

調べ学習にあたっては、問題解決型の学習は初めてであることから、「食」1つ1つについて全員で学習することとし、調べたことをグループごとに整理しながらまとめていく活動を展開したいと考えた。

4 単元総括目標

自分たちの住む地域の特産品を調べる活動を通して、地域に対する理解を深めさせるとともに、特産品の生産に取り組む方々の仕事に対する思いや喜びを感じ取らせる。

5 大単元の構想

第1小単元	くしもち名人から学ぼう	(16時間)
第2小単元	足沢みそ名人から学ぼう	(19時間)
第3小単元	りんご名人から学ぼう	(15時間)
第4小単元	学習のまとめ・御返地の名人を教えよう	(16時間)

Ⅱ 第2小单元「足沢みそ名人から学ぼう」

1 单元について

(1) 教材について

「足沢みそ」は、御返地地区で二十数年前よりキャリアサポーターである小笠原さんを中心に、地区の方々十数名で生産されている地域の特産品である。生産にあたっては、原料となる大豆の栽培から米麴作りも自分たちで行うなど、味にこだわり良質で安全な食品を目指し努力が続けられている。また、「ふるさとの味を伝えよう」という強い思いをもって取り組まれている。

子どもたちも、「足沢みそ」という名前はよく知っており、給食の食材に活用されていることから折にふれ口にしている食品である。しかし「足沢みそ」がどのように作られているか、また、市の推奨特産品に指定され市内の産直等で販売されていることを知っている子どもは少ない。本单元では、「足沢みそ」を通して地域の特産品についての理解を深めさせるとともに、その生産に携わる方々の思いや喜びを感じ取らせたい。

(2) 児童について

子どもたちは第1小单元「くしもち名人から学ぼう」で、調べたことを模造紙にまとめたり、それを相手にわかりやすく伝えたりすることを目標に学習を進めてきた。そのなかで、くしもちの作り方や小笠原さんのくしもち作り、御返地でくしもちが作り続けられてきたことについて体験活動やインタビュー活動を通して学んだ。郷土食ということで興味・関心を持って学習に取り組むことができた。しかし、調べたことをまとめたり、自分の考えを持ったりするということについては、まだ不十分であると考ええる。

(3) 指導にあたって

○ 指導観

本小单元の指導にあたって、課題解決の場を「家庭・地域」「足沢みそを生産する小笠原さん」「足沢みそを販売している二戸産直ふれあい」と設定し調べ学習を進めさせる。そこで学んだことをまとめの学習につなげる。

まとめの学習では、発表の様子をビデオレターにして小笠原さんに送ることをめあてとすることから、相手意識を高めた発表活動を行わせたい。その中で、調べたことを相手にはっきり伝える力や、自分でまとめたことから学んだこと（感じたこと）を発表したり、お互いの発表に自分なりの感想をもったりできる力も高めていきたい。

○ キャリア教育に関して

調べ学習でのインタビュー活動や発表活動では、調べたいことや自分の考えをはっきり相手に伝える力を高めさせたい。（コミュニケーション能力）また、小单元のまとめではあらためて小笠原さんのみそ作りに対する思いにふれさせるとともに、仕事をする喜びについて理解させたい。（職業理解能力）

2 小单元目標

- ・自分たちの住む地域には、優れた特産品があることを理解する。
- ・自分の考え、感じたことを進んで発表することができる。
- ・「足沢みそ」の生産にたずさわる方々の仕事に対する思いや、仕事をする喜びを感じ取る。

3 キャリア教育との関連

単元名	ねらいの観点							
	人とかかわる力		働くことの大切さに気づく力		自己の夢をつくりあげる力		自ら考え、粘り強く取り組む力	
	自己の理解能力	コミュニケーション能力	情報収集・探索能力	職業理解能力	役割把握認識能力	計画実行能力	選択能力	課題解決能力
		◎	○	○		○		○
足沢みそ名人から学ぼう	<p>〔キャリア教育単元目標〕</p> <p>◎自分でまとめたことを相手にしっかり伝えたり、自分の考えを進んで発表したりする。 (コミュニケーション能力)</p> <p>○自分の課題をみつけ、解決しようとする。 (計画実行能力・課題解決能力)</p> <p>○自分の知りたいことを、インタビュー等を通して確かめる。 (コミュニケーション能力 情報収集能力)</p> <p>○働く人たちの、仕事に対する思いや喜びを感じ取る。 (職業理解能力)</p>							

4 小単元の指導計画（19時間）

小単元と活動計画	観点別評価規準
<p>1 調べ学習の計画を立てよう (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名物調べをもとに、「足沢みそ」について調べを確認する。(1) ・「足沢みそ」について知っていることについて話し合う。(1) ・家の人や近所の人から「足沢みそ」について聞き取り調査をする。 ・調べたいこと、調べる方法について考え、話し合う。(2) 	<p>○「足沢みそ」の学習に興味・関心を持ち、自分の調べたいことをみつけることができる。 (計画実行能力)</p>
<p>2 「足沢みそ」について調べよう (9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小笠原さんを訪問し調べ学習をする。(3) ・二戸産直を訪問し調べ学習をする。(3) ・調べ学習のまとめをする。(3) 	<p>○自分の知りたいことを、インタビュー等を通して確かめる。 (コミュニケーション能力 情報収集能力 課題解決能力)</p>
<p>3 ビデオレターをつくらう。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレターの計画と準備をする。(2) ・ビデオレターづくりをする。(3) <p style="text-align: right;">本時 1/3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめをする。(1) 	<p>◎自分でまとめたことを相手にしっかり伝えたり、自分の考えを進んで発表したりする。 (コミュニケーション能力)</p> <p>○働く人たちの、仕事に対する思いや喜びを感じ取る。 (職業理解能力)</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・足沢みそについて調べたことや考えたことを相手にしっかり伝えることができる。
- ・友だちの発表について、自分の考えや感じたことを発表できる。

(コミュニケーション能力)

(2) 本時の展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 (○評価)	準備
導入 5分	1 本時の学習内容を確認する。 2 本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 足沢みその学習から学んだことを、ビデオレターにして小笠原さんに送ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレターづくりにむけた、グループ毎の発表練習であることを確認する。 ・小笠原さんへの感謝の気持ちをあらわす活動であることを意識付ける。 ・発表されたことについて、感想を述べ合いよりよい発表にすることを確認する。 	紙 板 書
展開 35分	3 グループ毎に、ビデオレターでの発表を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・足沢みその作り方 ・足沢みその材料について ・小笠原さんのみそ作り (みそ作りを始めたきっかけ) ・みそ作りをするうえでの苦労 ・仕事をしてうれしいこと ・足沢みそが売られているところ 4 改善点についてグループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が調べたことを相手に伝わるようにしっかり発表できたか。 ・1つのグループの発表が終わった後で、その発表について話し合わせる。 ○発表について、自分の考えや感じたことを話すことができたか。 ・発表に対してだされた意見をもとに、自分たちの発表について振り返えらせる。 	発表 資料
終末 5分	5 活動の振り返りをする。 6 次時の活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合った改善点について発表させ、次時の活動への意欲を高める。 	振り返 りカー ド

(3) 評価規準と具体の評価規準

学習活動における 評価規準	具体の評価規準		支 援
	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
調べたことや考えたことを相手にしっかり伝えることができる。	・発表する時に工夫することを意識して発表する。	・自分が調べたことを発表する。	・発表で工夫することを、確認・評価しながら活動させる。
友だちの発表について、自分の考えや感じたことを発表できる。	・友だちの発表をよりよいものにするために、考えたことや感じたことを進んで発表する。	・発表されたことについて感想を述べようとしている。	・発表で工夫することを取り上げ、感想を述べさせる。